

九条の樹 73号

2018年7月発行

東久留米「九条の会」ニュース

発行：東久留米「九条の会」

連絡先：Tel 042-473-9489（鈴木）

ホームページ：<http://higashikurume-9.net>

メール：higashikurume9@jcom.home.ne.jp



第九条
1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

6・17戦争はいや市民パレード

6月17日、第8回「戦争はいや！市民パレード」が開かれました。約150人の市民が参加しました。

市役所前の広場での集会ではうたごえの後開会し、最初に塚田勲さんがミニ講演。そ

の後3人の市民が発言。参加した議員らがあいさつしました。共産党の宮本徹衆議院議員、自由党の渡辺浩一郎元参議院議員、都議会議員の原のり子、市議会議員の間宮美紀の各氏のあいさつのと市内をパレードしました。

集会参加者の声

当日の集会での参加者の発言です。

小倉さん

孫が来ましてCDないか、ないかというので「箱ものじゃないよ宝物」というのがあったのでかけたら大喜びで歌を覚えてしまいました。しんかわ保育園の廃園反対から生まれた歌だそうですけど、娘はしんかわの出身です。

「憲法改悪絶対反対、九条守れ」「日本の空にオスプレイいらない」「辺野古の埋め立て反対」などのスローガンを唱和しました。

なお議員らのあいさつの中で先日亡くなられた市議会議員の白石玲子さんの業績にも触れ哀悼の言葉がありました。

東久留米九条の会にも参加された白石玲子さんのご冥福をお祈りします。

東久留米九条の会にも参加された白石

(2ページへ)

と思いました。

田中さん

こんにちは。2016年にしんかわ保育園などすべての公立保育園廃止が明らかになったとき、皆様には廃止阻止の運動でお世話になり、ありがとうございました。

私は今年の2月から4月まで東久留米の上空を飛ぶ軍用機を見つけたとき記録していました。浅間町の家から駅まで行く間だけなんです。それだけで13回でした。調べると横田基地に向かう米軍のC17です。飛行コースになっています。米軍は予算不足で事故が多くなっているので心配です。

しんかわ保育園のことですが市長は廃止は待機児童がいなくなったら、といっています。今年も認可に入れないうちが108人でした。それでも市長は来年しんかわ保育園の募集停止をと言っています。その説明会を言ったのです。父母会は強く抗議して

参加した父母はありませんでした。市長は選挙で言った約束や公約を破って平気です。こんな廃止はストツプしたいです。

「教育勅語とは」

アニメ作家 出崎哲（寄稿）

教育に関する天皇の意思表示の言葉だそうです。明治23年に出された教育勅語を、道徳の時間に使ってもいいと、わざわざ教育指導の中で言われると知り、恐怖を覚えました。明治に井上つよしが発

布した理由は、当時民衆運動、自由民権運動が盛んになって、民権運動をやるようなおとな達に、兵隊になって戦争に行くてくれと言っても素直に行く人達はいません。それなら、何年か先にはおとなになる、子ども達を教育して、戦争に行つてもらおう、としたのが、教育勅語の狙いだったのです。安倍政権は何故かそのことを忘れてしまったのか、又は、かつての明治政府と同じ目的で再び戦争へ進める為の準備を考えているのでしょうか。国

朝鮮半島の平和への動き 憲法九条のこと

— 塚田勲 —

「戦争はいや市民パレード」集会での塚田勲さん（未来をひらく歴史講座）の講演内容を紹介いたします。

どう見る？米朝会談

米朝会談が開かれました。日本のマスコミなどでは「信用

できない」とか否定的な見方も多いのですが、対決から話し合いの方向に切り替わったということ。これを歴史的なものだと思えます。これを実現する上で韓国のムン・ジェイン大統領の役割が大きかったと思えます。「戦争はさせない」と

民のこの不安をそのままにして強行採決を連発する政権の横暴を許せないので。

民主主義を守る為にも私達は9条を守って、より一層活動をあげましょう。



昨年5月就任以来言い続けてきました。

ムン政権を実現した力は何だったでしょうか。大統領選挙で勝利した力は民衆の運動でした。一昨年十月から毎週土曜のろうそくデモ、座り込みのべ1600万人が参加しました。「民主主義と人権が権力に蹂躪されたことへの怒りだ」と言っています。ソウルの広場では百万人の大合唱がありました。お年寄りから高校生も参加して、警察の車

も花で飾り警察官が記念撮影してくれましたといひます。参加した高校生は「歴史を学ぶことも大事だが、この集会に参加して歴史を作りたかった」と語ったそうです。新しい民主主義に向かった韓国で統一地方選挙があり3分の2の自治体で革新系の大統領与党が勝ったそうです。韓国国民の平和への願い、民主主義の運動から私たちは学びたい。

ムン大統領は1987年に作られた韓国憲法を一部変えることを公約しました。1980年の光州事件は日本では事件としか思われていませんが、韓国では軍事独裁と戦った民主主義の戦いと位置付けられています。光州事件の意義を憲法前文に書き込むという改憲です。安倍さんのやろうとしている改憲とずいぶん違いますね。

憲法九条は日本人の発案

マッカーサーが九条をなぞ出したかということですが、最近の研究でも当時の幣原喜

重郎が提案したことが明確になつてきました。幣原は満州事変の時の外務大臣で軍部の横暴になすべがなかった、悔しい思いをした人です。マッカーサーを訪ねて、天皇を守るためにも軍隊をなくすということと抱き合わせで提案したということですよ。二人の意見が一致して、GHQ案となつた。押し付けられたという人もいますが、日本人の発案ということがはっきりしてきました。

皆さんはGHQが提案した九条を読んだことがありますか。出だしは「国民の一主権としての戦争は廃止す」となっています。これをもとに吉田首相が政府案を出して帝国議會で審議しました。これを審議した委員会のメンバーは政府案が「廃止す」となっている。戦争をなくそうとするのに受け身とは何事だ、ということになつて主語が「日本国民が」となり、「目的」もなかったの「国際平和を希求するため」という言葉を入れたのです。

がんばったのが5・15事件で殺された犬養毅の息子犬養健や社会党の鈴木義男らでした。このように主語は日本国民だということ、目的は国際平和だとした点を再確認したいです。

もう一つは憲法97条です。

「この憲法が日本国民に保障する人権は人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であつてこれらの権利は過去幾多の試練に耐え現在および将来の国民に対して侵すことのできない永久の権利として信託されたものである」。自民党はこの条文を目の敵にしています。自民党改憲草案では削除しています。日本国憲法は世界史の流れの中に自らを位置づけています。そういう憲法は世界にありません。

道徳教育についても話すつもりでしたが時間が無くなりました。来年からの教科書が図書館で展示されますので是非ご覧ください。

(文責・事務局)

● 東久留米「九条の会」13周年のつどい 10月6日(土)

☆講演会・「佐高信」氏(評論家・週刊金曜日編集委員)に決定。歯に衣着せぬ物言いで、核心をズバツと突くお話にご期待を!

☆講演前のオープニングタイムには「岡大介」さん。カンカラ三線を手にして「かんからそんぐ」として社会風刺演歌を歌う。



自民党改憲草案を読む！⑧

第9条

安倍首相は憲法9条1項2項はそのままにして、自衛隊を書き加えるといった案を提案し、それが自民党に受け入れられた形に現在はなっています。当初の自民党案ではさすがに通らないと考えたすえの苦肉の策といえます。

9条2項を削除する案は、国防軍を保持するといった自民党改憲案と、国防軍とはせず自衛隊の保持を憲法に明記し、我が国の独立と平和及び国民の安全と自由並びに国際社会の平和と安全を確保するため、陸海空自衛隊を保持するといった石破茂案の二案です。

9条2項を維持する案は、9条第3項に、前2項の規定は自衛権の発動を妨げない、とする案と、前2項の規定は、国の自衛権の行使を妨げず、そのための実力組織を保持することができる、といった二案です。しかし2項を維持する案も自衛権の

発動を妨げないとか、そのための実力組織を保持することができ、などといったことが明記されれば、2項の条文は完全空文化されてしまいます。自衛隊は一人歩きをはじめ、無制限の武力行使に道を開くものになります。

元々の自民党案に比べると安倍首相の出してきた改憲案はかなり抑制的に見えます。しかしこれは国民をだますテクニクの一つに思えてなりません、本質は従来の自民党案と少しも変わりません。集団的自衛権で海外派兵に道を開き、自衛隊を合法化することによって、米軍と自衛隊の共同の武力行使が可能になります。だまされてはいけません。

太平洋戦争の深い反省から憲法9条は生まれました。この戦争でアジア諸国で20000万人、日本人は約310万人が犠牲になっていきます。そのほとんどが何の罪もない人々です。こ

んな戦争は絶対に起こしてはなりません。武力による平和などはあり得ません。武力によらない平和こそ本当の平和だと思えます。戦後73年間日本が戦争に巻き込まれることなく平和でいられたのも憲法9条あってのことです。

アメリカはこれまで世界のいたるところで戦争を繰り返してきました。ベトナム戦争や湾岸戦争などで当然アメリカは自衛隊を出すよう時の政府に要求してきましたが、憲法9条があるため自衛隊が派兵されることはありませんでした。

もし自衛隊が海外で戦争をするような事態になれば、自衛隊員や現地の人々に多数の犠牲者が出ます。日本が恨みをかいテロの標的になる恐れもあります。

私たちは平和な日本を次の世代に引き継ぐ義務があります。今こそ主義、信条、宗教、党派を越えて「安倍9条改憲NO！」の声をあげましょう。



(渡邊)

◆《平和を考える本》 『戦争青春記』

(秋葉 洋／一葉社)



1924年生まれ筆者が、敗戦を経験したのは21歳の時。正に青春のただ中を戦時下で過ごした。軍学校時代から軍国主義を批判し、日本が負ける日の近いことを憚ることなく口にしつつも、なんとか生きのびられたのは、多くの日本人が心の中ではすでに同じ思いを抱いていたためではないか。

戦争反対を表明する際、戦争の残酷性をリアルに描く場合が多いが、本書のように、極限状況下でも人としての尊厳を守りつつ生きた人々を淡々と描く場合もある。それだけに、平和への希求の深さが窺える。(高田)